会　議　録

会議の名称	平成25年度　第1回文化財審議会
開催日時	平成25年7月19日(金)　15時00分～17時00分
開催場所	教育委員会　会議室
出席者	水宮恒委員、横山亮英委員、吉川節男委員、梅野俊明委員、 大久保善郎委員、塩入たま江委員、松本伸行委員 事務局（金田生涯学習課長、加藤生涯学習課副課長、堀主査）
欠席者	なし
会議次第	１．報告 （1）平成24年度文化財保護事業について （2）平成25年度文化財保護事業について （3）入間東部地区文化財保護連絡協議会総会報告について （4）その他 ２．協議 （1）今年度の文化財審議会計画について （2）文化財保存団体補助金の交付について （3）その他
会議資料	①　平成24年度の主要事業 ②　平成25年度の主要事業 ③　入間東部地区文化財保護連絡協議会平成25年度総会資料 ④　平成25年度文化財審議会審議計画（案） ⑤　富士見市文化財保存団体連絡協議会補助金交付について
公開・非公開	公開（傍聴人　０人）
会議録確認	水宮委員

会議内容

あいさつ（議長）

1．報告

（1）平成24年度文化財保護事業について

事務局より報告

（2）平成25年度文化財保護事業について

事務局より報告

（3）入間東部地区文化財保護連絡協議会総会報告

事務局より報告

（4）その他

・生涯学習課文化財担当の事務局の移動について

平成25年6月3日（月）より、生涯学習課文化財担当が水子貝塚資料館事務室内に移動

2．協議

（1)平成25年度文化財審議会計画について

事務局　平成25年度から27年度にかけて実施計画で文化財総合目録作成事業を実施することになっている。これにより市内全域の様々な歴史文化資源の全体像を把握できることとなる。今後、これらの文化財をどのように保護・活用していくべきか、文化財保護マスタープランの作成を念頭に、その基本的な方針について検討し、ご意見をうかがいたい。

まずは、文化財総合目録作成事業について説明する。

事務局　近年、文化財保護法の改定や文化財の範囲が拡大され、社会情勢においては急激な変容や開発の増加により有形・無形の文化財が失われている現状がある。これら地域資源である文化財を活かすため、現況調査・目録化は急務である。将来にわたって保存・継承すべき文化財を把握するとともに、活用を含めた文化財保護マスタープラン策定を視野にした基礎資料としたい。

この事業は市民との協働とし、文化財審議会・資料館友の会・市民学芸員・学識経験者等にも協力をお願いし、文化財総合目録作成委員会を設置する。審議会からは4名程度、入っていただきたい。

審議委員　文化財審議会からの委員選考については、地元をよく知る人を優先すべきである。

審議委員　元審議会委員にも参加をお願いしてみてはどうか。

事務局　選考については、ご本人にも確認をとって検討したい。

審議委員　基本的方針については、富士見市特有の歴史文化に関するテーマをかかげてみてはどうか。

そこから、課題やそれに対する方策・活用へと広げるべきである。

事務局　目録の作成事業とほぼ同時進行になるが、他市町村の例も参考資料として提示していきたい。

（2）文化財保存団体補助金の交付について

事務局　市指定民俗文化財に指定されている囃子や獅子舞を保存・継承する7つの団体で構成される文化財保存団体連絡協議会に対し、補助金を交付する予定である。ついては富士見市文化財の保存及び活

用に関する条例第11条２において、交付する場合には審議会の意見を聞かなければならないとある。ご意見をうかがいたい。

審議委員　郷土芸能については、社会情勢等からも保護・継承していくことは難しい。保存団体から市でもう少し補助金の増額はできないかとの意見も聞いている。

事務局　現状で増額は難しいが、民間で文化財の補助をしているものがある。その中で適正なものを保存団体の役員会の際に紹介し、教育委員会においても可能な限りの協力をするつもりである。

審議委員　後継者育成においても、苦労していると聞いている。郷土芸能の場合、年齢や性別等において制限があることが多い。地元の方たちも幅広く人を集める手段として、制限をゆるめたり、学校でも学べる機会を増やしてはどうか。

審議委員　川越の砂地区にある氷川神社では役員会から地元の小学校に祭礼での囃子に生徒を参加させてもらいたいとの依頼したところ、熱心に囃子を学びはじめ、子供に付き添っていた保護者にも一緒にと声をかけたところ多くの人が囃子に参加し、現在では賑わいをみせている。

審議委員　小学校３年より上の学年では、総合学習で地域にかかわる学習を行っている。学校側はどこにアクセスすればよいか分からないので、情報を流すようにしてみてはどうか。できれば、文化財側から小学校用にパンフレットやガイドブック等を作ってみるとよいと思う。

事務局　参考とし、検討していきたい。

（3）その他

・水子貝塚公園の復原住居の修繕について

事務局　平成25年度から5か年計画で国庫補助事業として
復原住居修繕を計画している。今年度は、15号住居の修繕を予定している。このことに伴い、
史跡の現状変更申請を提出する予定である。ついては、審議会から意見をうかがいたい。
（事務局より、修繕に関する説明）

審議委員　昨年度、水子貝塚の復原住居の現状を見たが、修繕は必要であると思う。
茅葺屋根の痛みは特にひどく、いたずら等も多いと聞いている。場合によっては展示品等のあるメインの住居や出入りできる住居を除いて、柵等を設けることも考える必要があるのではないか。

事務局　検討する。

審議委員　国の補助金以外に、県の補助金はないのか。

事務局　平成25年度については、急な話でもあったため、県費補助はない。

審議委員　早めに対応していけば、県も対応してくれるのではないか。検討してほしい。

次回会議

次回の日程については、平成25年10月16日を予定する。